

**TPOに応じた着こなしや身だしなみを考え、
適切な振る舞い方を知るための
フリースレスの取り組み**

**岡山県立岡山御津高等学校
岡山御津高校 校則検討委員会**

岡山県立岡山御津高等学校 校則検討委員会の奮闘記

～フリースの学校はいかが？～

岡山県立岡山御津高等学校 校則検討委員会

(光田愛李、柳原美姫)

岡山御津高校の現状

- ・ 生徒数約 200 名
- ・ 「学校」自体にネガティブな思い
- ・ “自分を表す” ことで安定
- ・ “正しさ” だけでは息が詰まる

学校に通い続けることを大切に

岡山御津高校の課題

△正しい着こなし

△メリハリをつける

△「学校」へのモチベーションの低さ

◎やっとの思いで登校できている生徒

正しさ・優しさ・ユルさを大切に

⇒一人も取り残さない学校！

私服登校や校則改定についての新聞記事やネットニュースが激増中！

私服登校の歴史

「カンコーホームルーム」 Vol. 1, 190 (2021年11月30日)

- 高校生1099人に調査「制服は必要か？」
- 8割が必要
 - ⇒ 服装悩まない、学生らしさ、学校判別
- 2割が不要
 - ⇒ 個性が出ない、束縛、温度調整難しい

私服登校の歴史

「千葉の進学校 なぜ制服自由化に失敗したのか」
(東洋経済オンライン、2023年2月16日)

- 1993年に制服自由化
- 近隣中学校→「レベルが下がった」
- 「〇〇高に入って金髪になった」と不信感
- Not “自由、自律” But “思うまま、テキトー”
- 自由化の意義を理解していない新入生
⇒制服登校に戻すという議論

本来の意図が周囲に伝わらない
本来の意図が伝承されない

私服登校の歴史まとめ

- 東日本：私服登校多
- 西日本：私服登校少
- 北海道など寒い地域では私服登校
- 私服登校に失敗→制服に戻す学校多
- 意義の継承ができず、テキトーが蔓延

私服登校の歴史

【全日制岡山市立高校にインタビュー】

正しさを軸にした教員と生徒の対立がなくなり、オープンマインドになれる！

“注意” 関係ではないので、大人に対しても物おじせず、意見を述べたり、発表したりできるようになった！

校則検討委員会の探究課題

行きたくなる学校を自分たちの手で
～一人も取り残さない御津高校へ～

<キーワード>

自由と責任、持続可能な意義、メリハリ
個性の発揮、正しさとユルさ、学校が楽しい

校則検討委員会の探究手法

- 仲間集め
- スモールステップ
- お試し期間⇒アンケート⇒議論⇒実施
- 探究活動ブラッシュアップイベント参加
⇒改革において必要な心構えなどを企業の方々に教わる

校則検討委員会の探究手法

①仲間集め

⇒生徒会や各種委員会など既存の団体を活用し、無駄な労力を省く

②スモールステップ

⇒いきなり大げさなことをするのではなく、すぐにできそうなことから初めて、この委員会の存在と貢献度を周知する

⇒「試行期間→アンケート→議論→決定→本格実施」のパターン化

③探究活動ブラッシュアップイベント

⇒改革において必要な心構えなどを企業の方々に教わる

⇒市場調査などの極意を教わる

校則検討委員会の奮闘記①

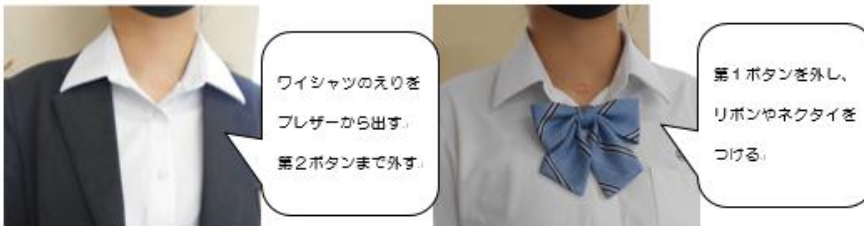
【クールビズ期間の新設】

〇〇Kの例〇

・ネクタイ、リボンを外して、第1ボタンを開ける。



×ダメな例×



- ※ 第1ボタンまでしてネクタイ・リボンをする か 第1ボタンを外して、ネクタイ・リボンもしない の2択
- ※ ネックレス等はしない（そもそも禁止です）
- ※ 華美なインナーは×です。

★ 自分勝手な解釈はしない！注意されたら素直に改善する！★

「授業中にノートを書く時、これまでは苦しかったし、いくらエアコンが効いているとはいえ暑かった！すごい快適で助かる♪」

(生徒の感想)

「子どもがネクタイが苦しいって言ってたんです。まさか御津高校がルールを改善してくれるとは！ありがとうございます♪」

(保護者の感想)

校則検討委員会の奮闘記②

【スマホ授業時間以外の使用許可】

スマホ使用に関するルール について

校則検討委員会

1 日時
令和5年 10月 2日(月)～

2 内容

○使用許可時間○
休み時間、昼休み、放課後(常時マナーモード)

×使用を認めない時間×
SHR、授業、そうじ、終礼
(その他先生に指示された時を含む)
→ この時間帯の使用は、担任が預かり、放課後に返却 かつ
反省文指導とする

※ 定期考査時(進路マップ等含む)は不正行為防止のため、
SHRで電源を切り、カバンの中へ入れる。
その日の考査が終了するまで使用不可とする。

<使用の条件>
以下の使用は禁止する。

- ×歩きスマホ×
- ×大音量での通話、音楽、動画再生×
- ×保健室での使用×
- ×SNSのライブ配信×
- ×動画や写真を許可なく撮影したり、SNSに投稿する×

問題が発生する場合は、一旦中止し、再度検討し直すこととする

「休み時間が静かになった！笑 スマホ解禁になったけど、大きなトラブルはない。先生たちも逆にやりやすそう！」(生徒の感想)

「メリハリをつけよう！と授業開始時に声かけをして授業を始めやすくなった。生徒も切り替えてくれている。清掃への切り替えが遅いのはたしか・・・。」(先生の感想)

×スマホ禁止

○スマホを上手に使う

校則検討委員会の奮闘記③

【探究活動フラッシュアップイベント】

多くの企業様や教育委員会の方々からに取り組みを発表し、ご助言いただいた。

様々な立場の人のアンケートを取らないと一部の人の意見で物事が進んでしまい、当事者意識が生まれません！賛成・反対・保護者・地域など多くの人の意見を活用すること！

制服を着たい生徒にも少し遊びの要素を入れるための工夫をしてもよいかな。海外では「〇色のものを身につける」などの遊びを入れている学校もあるみたい！私服を着たくない生徒のことも考えてみよう！

校則検討委員会の奮闘記④

【フリースレス期間】

- 本当に必要な身だしなみや服装規定について生徒自身が考えるきっかけに！
- 12月11日（月）～22日（金）
※探究活動発表会と終業式は正装
- 私服、化粧、ピアス、ネイルOK！

校則検討委員会の奮闘記④

【フリースレス期間】

寒い日にはモコモコの服で登校をした生徒も。
温度調整をしやすいのは大きなメリット！



写真：山陽新聞社提供

制服も私服も両方いるグループディスカッション。
フリースレスで心が軽くない、活発な議論が★



写真：山陽新聞社提供

校則検討委員会の奮闘記④

【フリースレス期間】

こんなネイルを自分でしたよ！シャーペンがちゃんと握れます！授業で集中力が切れそうなときに、これを見てやる気がみなぎった！アゲアゲ♪



テレビや新聞など合計4社が取材に来られ、注目度の高さがうかがえる。ネットニュースで全国発信もされ、全国から賛否両論のコメントをいただきました。いろいろな考えに出会えて、新鮮でした♪

YtoY youth youth

学校生活に必要な身だしなみを生徒自身で考えようと、御津高（岡山市北区御津金川）生徒が11～22日を「フリースレス週間」と定め、自由な服装で登校した。県内全日制高校では初めての試みという。実際にどんな服装で通い、何を感じたのか、新聞の19日に学校を訪れてみた。（松尾紗英）

私服登校「気分上がる」

市立高の制服にはあるけれど、私服はあまり着ない生徒が多い。私服を着ると気分が上がるという生徒が、この試みに参加した。私服を着ると気分が上がるという生徒が、この試みに参加した。

私服登校に「モチベーション上がる」と話す御津高生（20）

パーカやデニムジャケット…

御津高で「フリースレス週間」

パーカやデニムなどを着用して授業を受ける生徒ら

校則検討委が試行 アクセサリー、化粧もOK

2023年12月24日山陽新聞朝刊「YtoY」

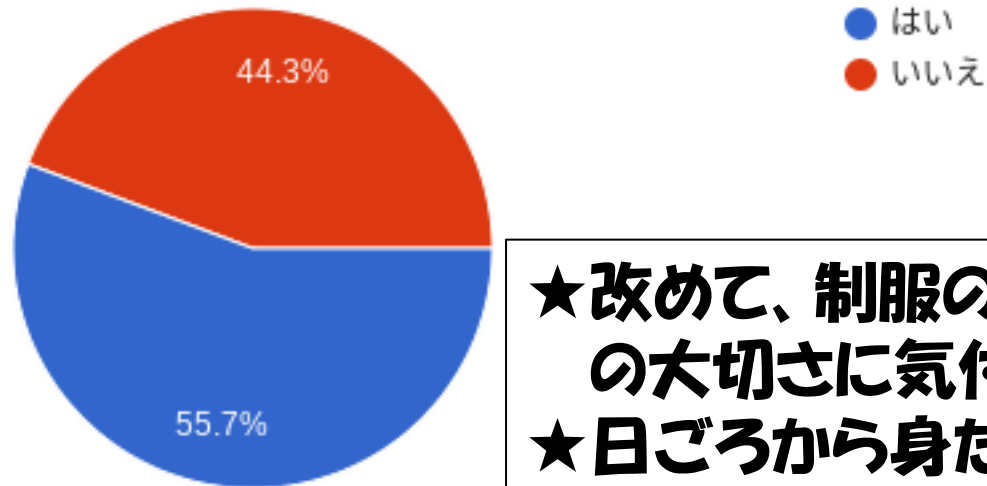
2023年12月24日山陽新聞朝刊「YtoY」

校則検討委員会の奮闘記④

【フリースレス期間】生徒アンケートより

(1) フリースレス週間は身だしなみについて考えるきっかけになりましたか？

149 件の回答



★改めて、制服の意味や良さ、メリハリをつけることの大切さに気付きました。

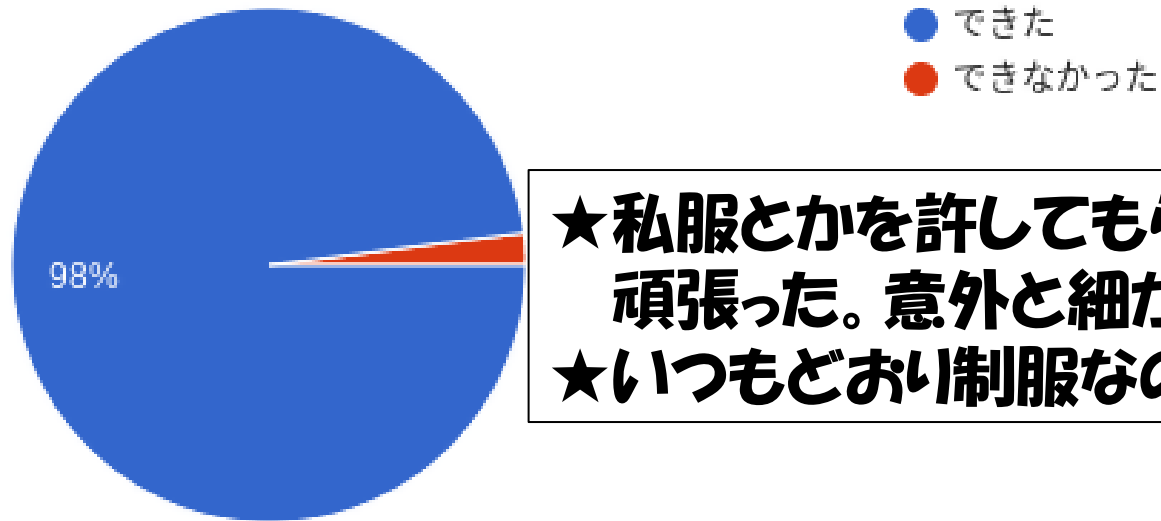
★日ごろから身だしなみは意識しているから改めて考え直すことはなかった。

校則検討委員会の奮闘記③

【フリースレス期間】生徒アンケートより

(3) 正装で来るべき日にあなたは正しく制服を着用できましたか？

149 件の回答



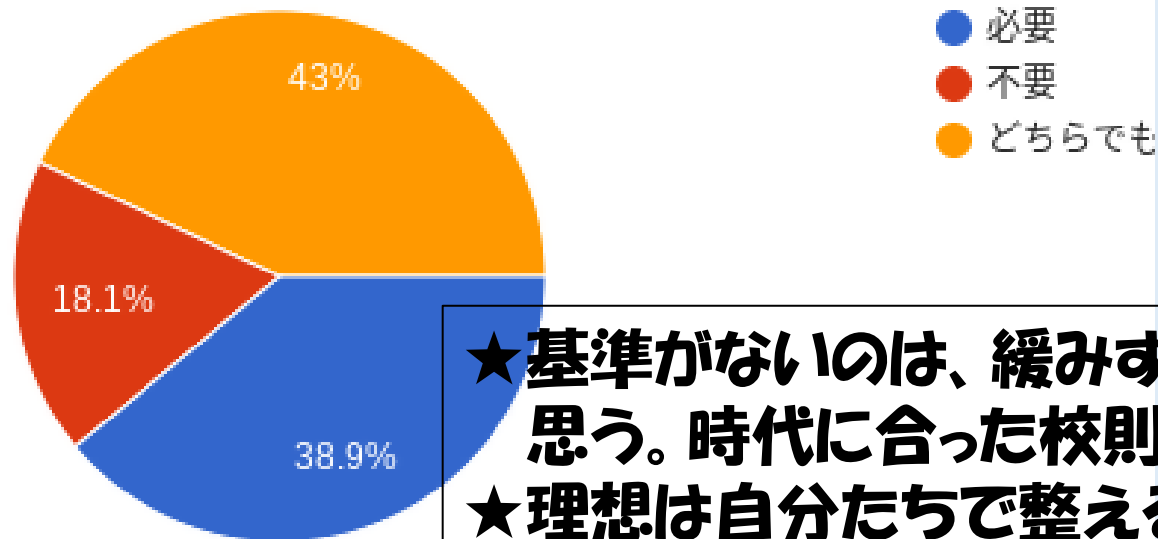
★私服とかを許してもらったから、正装の時はさすがに頑張った。意外と細かいことも注意されたけど、従った
★いつもどおり制服なので、いつもどおりです。

校則検討委員会の奮闘記③

【フリースレス期間】生徒アンケートより

(5) 御津高校に身だしなみの校則は必要だと思いますか？

149 件の回答



★基準がないのは、緩みすぎてしまうから校則は必要だと思う。時代に合った校則にしてください。
★理想は自分たちで整えることなので、ないのもありかも。

校則検討委員会の奮闘記③

【フリースレス期間】生徒アンケートまとめ

- ・ 肯定が 8 割
⇒ 温度調整、LGBTQなど多様性、個性表現
意外と勉強に集中できた、気分が上がる
- ・ 反対が 1 割強
⇒ 悩んだりやりすぎたりして邪魔、
制服がスイッチになる、トラブルに巻き込まれにくいし、巻き込まれたときに「御津」ってわかりやすい

校則検討委員会の奮闘記③

【フリースレス期間】教員アンケートより

- ・ 肯定が 8 割

⇒ 「注意」がない、おとなしめな生徒も楽しそう

自分で自分のすることを考え、判断するのは大事

- ・ どちらでもないが 1 割強

⇒ 今回は私服の生徒が想像より少なかったから何とも

言えない、ネイルには抵抗がある、進路に影響？

校則検討委員会の奮闘記③

【フリース期間】保護者の意見

「子どもたちに考えたり、判断したりする機会を与えてくださってありがたかった。こうした経験を通して、自分で考え、決断する力が身に付く。」

「“〇〇が望む人物”などに自分自身を合わせていく能力がこれからは必要。相手や状況、場面で自分を変えていく力を身につける土台になる。」

校則検討委員会の奮闘記③

【フリース期間】保護者の意見

「この期間で、いろいろなものを見て、聞いて、考えて、感じることができた。こうした機会があったことがすばらしい。様々な視点で学校や自分を観られた経験は今後大切になる。」

「夏だと露出が増えたり、事件に巻き込まれる可能性も高まったりするから制限が必要。」

校則検討委員会の奮闘記③

【フリースレス期間】保護者の意見

「制服は学校の看板であり、学校の一体感を出すツールにもなる。制服とのバランスも考えた運用になればいい。悪さをしたときに「御津高校」とばれないけど、事件に巻き込まれたときに「御津高校」と知ってもらうことができない。そういうことも念頭に置いてほしい。」

「服装はあくまでも外側。TPOに応じた行動選択は自分を律する中身の部分が大事になる。どんな服装であってもまずは自分。」

岡山御津高校の未来

現在：アンケート結果の集約と議論

⇒様々な立場からの意見を踏まえ、今後も実施すべきか、どう実施すべきかを議論中

今後：新世代が持続可能なフリースの意義を継承

⇒3年生が創り上げたものの形だけではなく、思いや熱意もしっかりと継承していく。さらに日々メリハリを求めていく。

まとめ

- 総合的な探究の時間の探究活動とは違い、題材は自分たち。自分たちのことだからこそ色々な意見が出て、総探の時間とは違う難しさがあった。大きな改革になるため勇気もいった。批判もあった。社会からの目も痛かった。いつももの総探は「高校生が地域のために頑張ってくれている」と大目に見てくれることが多かったが、校則検討委員会の取組についてはそうではない。常に賛否両論が生じる。一人の人間として対等に社会から意見をいただいた。忸度はなかった。今の社会、情勢、多様性などいろんなことを視野に入れないと社会は受け入れてはくれない。一人でも多くの御津校生が「御津高校に入学して良かった」と思えるような“一人も取り残さない学校づくり”に自分たち生徒自身で取り組みだすが、今の私たちなら何となく立ち向かっていける気がする。一人でも多くの御津校生が笑えるように。この取組が岡山県の教育に良い影響を及ぼしますように。探究活動を通して成長した高校生こそが岡山県の財産だと思った。ここにいらっしゃる皆さん、これからも頑張ろう！